

## 平成28年度 西崎特別支援学校 学校評価（生徒用）分析・考察

【 高等部生徒：33名 】

- 1 高等部の生徒は、先生方が授業や行事等の取り組みにおいて、ある程度実態に応じた対応がなされていると感じている。また、授業で何を学んでいるかが分かり、達成感等も感じている。進路学習でも情報提供がしっかりなされており、将来への見通しを持たせていると思われる。さらに防災教育に関しては、その取り組みが生徒に浸透している。
- 2 項目⑥「教師になんでも相談できる」では、生徒のサインを見逃さないように対応していくとともに、担任や学年、支援部、生徒指導部と連携しながら、気になる生徒等の情報共有や共通理解を取りながらの対応等、相談しやすい体制づくりを心がけることが引き続き求められている。昨年度から取り組んでいる「もやもやシート」も活用して、生徒の悩み等を集約する取組を引き続き行っていく。
- 3 「生徒会活動」や「部活動」等に関しては、活動の周知の方法を改善していきながら、生徒の実態に応じた生徒会、部活動の内容や方法等の見直しを図っていく必要があると思われる。